

東京大学法科大学院ローレビュー第 18 巻掲載論稿の決定について

2023 年 9 月 19 日

東京大学法科大学院ローレビュー第 18 期編集委員会

編集委員会による厳正な審査の結果、学生の皆様より東京大学法科大学院ローレビューにご投稿いただいた 7 編の論稿のうち、下記 4 編について掲載を決定したことをご報告申し上げます（掲載論稿のタイトルは執筆者により変更される可能性があります）。

掲載論稿の選出理由は、発刊されるローレビューに「投稿論稿選出理由」として記載されます。また、掲載不可となった論稿についても、期間内にお申し出された方には編集委員会から掲載不可理由を返却することとしています。

本誌は投稿時点に修了または退学してから 2 年以内の方にも投稿資格を認めています。引き続き、次巻以降も皆様の投稿・再投稿をお待ちしております。

なお、ローレビュー第 18 巻は今冬頃の刊行を予定しております。

記（執筆者名の五十音順）

- ・ 「侮辱罪の保護法益と行為——法定刑の引上げと、ドイツ的な把握——」
小杉麟太郎
- ・ 「地区詳細計画上の利益調整——ドイツ連邦行政裁判所における衡量要請の展開——」
田中裕登
- ・ 「身分犯の共犯と業務上横領罪の構造」
星川竜儀
- ・ 「意思表示の成立要件の検討-電子取引を題材に」
宮川将毅

以上